

ひらめき ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI プログラム概要

研究機関名	北海道大学		
プログラム名	海岸動物の行動生態学実習:ヤドカリや巻貝も「周囲の目」を気にする!?		
先生(代表者)	和田 哲(わだ さとし)・大学院水産科学研究院・教授		
自己紹介	本州、四国、九州、そして北海道の全てに住んだことがあります。群馬生まれ、大阪育ち、北大卒業後、高知大、熊本大を経て北大に戻りました。動物は犬が好きですが、犬は研究していません。私の研究室で学生や院生たちが研究しているのは、魚類、貝類、甲殻類など、さまざまです。		
開催日・募集対象	令和 5年 8月 5日(土)	受講対象者	高校生 募集人数 20名
集合場所・時間	北海道大学水産学部正面玄関	(集合時間)	8:20
開催会場	住所: 〒 041-8611 北海道函館市港町3-1-1 アクセスマップ URL: https://www2.fish.hokudai.ac.jp/		
内 容			
<p>自分の周りの人がなにをしているか、気になりますね。人に見られて焦ったり、逆に人の真似をしたり。そんな経験のある人も多いことでしょう。近年の研究で、海岸の無脊椎動物(ヤドカリ、巻貝)も意外と周りの個体を気にしていることが分かってきました。</p> <p>本プログラムでは、ウェブページ上のオンデマンド教材と対面の講義、そして磯採集や簡単な実験を体験することによって、海岸動物が「じつは奥の深い行動」をしていることを堪能します。</p> <p>採集や実験の対象とするのはヤドカリと巻貝ですが、研究紹介では私たちの研究室で行われている魚類の研究についても紹介する予定です。</p> <p>当日はできるだけほのぼの楽しくおこないたいと思っています。教員や大学生たちに気軽に質問することもできますよ。</p>			
持ち物		特記事項	
筆記用具 着替え タオル		<p>本プログラムでは、市街地から離れた場所にある海岸での磯採集、濡れて滑りやすい室内で行われる無脊椎動物(ヤドカリ、巻貝)実験が行われます。海水で濡れてもよい服装、滑りにくく歩きやすい靴で参加してください。</p> <p>*当日が悪天候の場合、磯採集を実施しないこともあります。</p>	
スケジュール			
<p>8:00-8:20 受付 (集合場所: 水産学部管理研究棟正面玄関ホール)</p> <p>8:20-8:30 開講式:挨拶、オリエンテーション、科研費の説明</p> <p>8:30-10:50 磯採集・観察 (函館湾西岸の葛登支岬周辺海岸)</p> <p>10:50-11:00 巻貝の摂餌実験 (インターバル撮影開始)</p> <p>11:00-11:30 ヤドカリの配偶行動実験</p> <p>11:30-12:00 講義: 科研費による最新の研究成果の紹介 (講師:和田 哲)</p> <p>12:00-13:00 昼食</p> <p>13:00-13:30 巻貝の摂餌実験 (動画の観察、解説)</p> <p>13:30-13:50 クッキータイム</p> <p>13:50-14:30 研究室及び施設見学</p> <p>14:30-15:00 修了式:アンケートの記入、未来博士号の授与、15 時に終了・解散</p>			

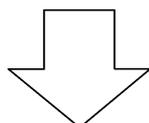
課題番号	23HT0002	分野	生物	キーワード	行動学、生態学、底生動物、甲殻類、貝類
------	----------	----	----	-------	---------------------

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	北海道大学水産科学研究院・和田 哲
住所	北海道函館市港町3-1-1
TEL番号	0138-40-5547
E-mail	wadas@fish.hokudai.ac.jp
申込締切日	2023年8月1日(火)
当プログラムは先着順にて受付を行います。	

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2013年度 ~ 2016年度	基盤研究(C)(一般)	25440228	ヤドカリの配偶者選択：他個体との遭遇履歴を社会情報として利用するか
2021年度 ~ 2024年度	基盤研究(C)(一般)	21K05722	肉食性巻貝ヒメエゾボラによる在来種及び外来種の餌利用：進化トラップ仮説の検証



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000040325402>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。